

5 中学校「英語」

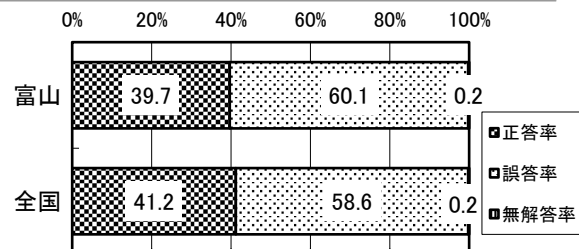
(1) 問題番号 3 <正答率が低く、その正答率が全国よりも低い問題>

学習指導要領における領域・内容：聞くことA

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 日常的な話題について、自分の置かれた状況等から判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。

- ・正答率は39.7%で、全国平均より1.5ポイント低く、聞くことの領域の問題の中で最も正答率が低い。
- ・誤答については、自分の置かれた状況を把握できていない生徒が26.2%（全国27.2%）、着目すべき語句や表現を聞き取ることができていない生徒が33.8%（全国31.4%）である。



3 (放送問題)

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。説明を聞いたあと、質問が放送されます。質問の答えとして最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 To tell your group members about your group's job.
- 2 To make the fire and cook rice.
- 3 To cut the vegetables and the meat.
- 4 To cut the vegetables and set the tables.

(スクリプト)

Tomorrow, we will have a barbecue party. We have three groups. Each group has a job. Group leaders, don't forget to tell your group members about your group's job. Group 1, can you make the fire and cook rice? Groups 2 and 3, please cut the vegetables together. After you finish cutting the vegetables, Group 2 cut the meat, and Group 3 set the tables for all the groups. Do you have any questions? If you have any questions, please ask me later.

Question: What is your group's job at the barbecue party?

正答 3

学習指導上の留意点

○ 自分の置かれた状況等から判断して、必要な情報を聞き取ることができるようにする

自分の置かれた状況等から判断して、必要な情報を聞き取るためには、話されることの全てを聞き取ろうとするのではなく、自分の置かれた状況等から何が自分にとって必要な情報かを判断した上で聞き取ることが重要である。

言語活動を行うに当たっては、自分の置かれた状況を把握できているかどうかと、何を聞き取ればよいかを理解しているかどうかを確認することが大切である。

指導のポイント

- ・関連する語句や表現に着目して、自分が必要とする情報を聞き取る活動を取り入れる。
- ・聞く活動において、何を聞かなくてはならないのかを捉えることができたなら、どのような情報が述べられているのか、どのような語句や表現が使用されているのかなどを予測する場を設ける。
- ・自分の置かれた状況等に着目して、必要な情報と必要としない情報を判断し、「必要な情報」のみを取り出すことができるようにする。

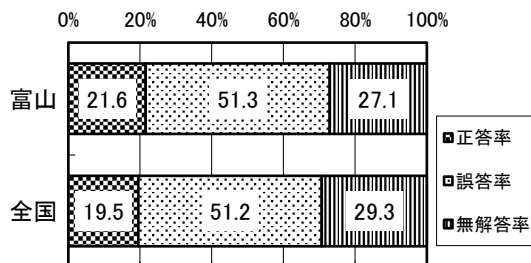
(2) 問題番号8(2) <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における領域・内容：書くことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。

- ・正答率は21.6%で、全国平均より2.1ポイント高いが、全問題中3番目に正答率が低い。
- ・無解答率は27.1%（全国29.3%）と高い。
- ・誤答については、書き手の意見に対する自分の考えを書いているが、具体性に欠けていたり、自分の好みを理由としていたりするなど、その理由を書くことに課題があると考えられる生徒が28.6%（全国28.0%）である。



8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

<正答の条件>

次の条件を満たして解答している。

- ① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。
- ② ①の理由を書いている。

正答例

- ・ I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.
- ・ I don't agree with you because people will lose their job.

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



学習指導上の留意点

○ 読んだことを基に自分の考えとその理由を書くことができるようにする

読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが重要である。

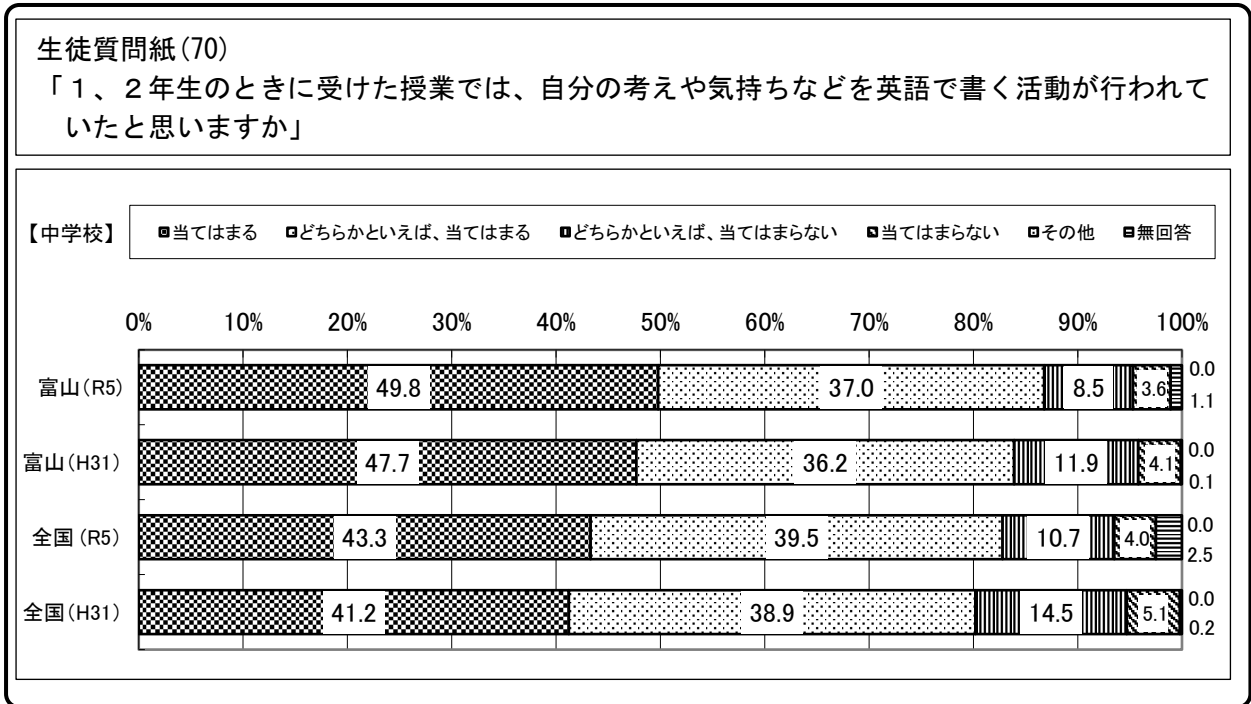
言語活動を行うに当たっては、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考え等を話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことが大切である。

指導のポイント

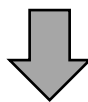
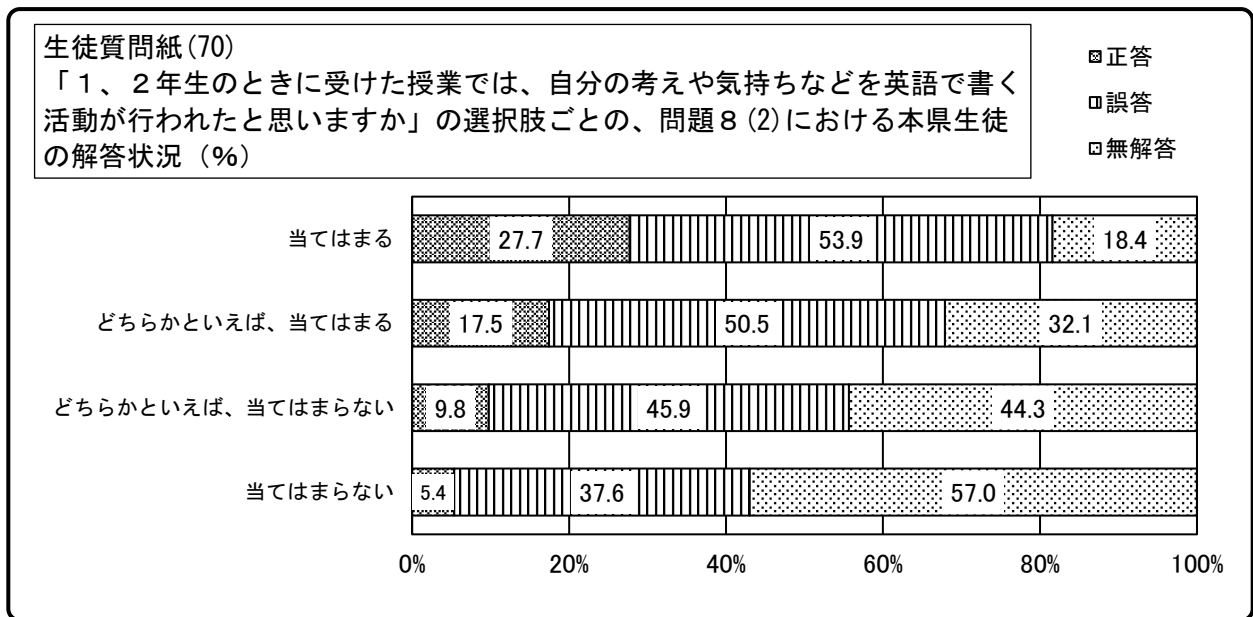
- ・教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想等を、スピーチの形式や、新聞やホームページ等への投稿文の形式で書く活動を取り入れる。
- ・自分の考えを話したり書いたりする際には、なぜそのように考えたのかという理由を考えさせたり、生徒の発話に対して教師が理由を尋ねたりするといった取組が効果的である。
- ・書いた英文を推敲する際には、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて適切な内容になっているか、正確に書くことができているかを指導する必要がある。内容や表現を改善していく上で、書いた英文に対して教師がフィードバックを与えたり、他の生徒からコメントをもらったりすることも大切である。

(参考)

問題8(2)に関わる生徒質問紙(70)における本県生徒の結果は、次のようになった。



また、生徒質問紙(70)の結果と問題8(2)の正答率をクロス集計における本県生徒の結果は、次のようになった。



生徒質問紙(70)に肯定的に答えた生徒の方が、問題8(2)を正答している割合が高く、無解答率も低い。このことから、**自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を継続的・計画的に取り入れることが重要だと考えられる。**

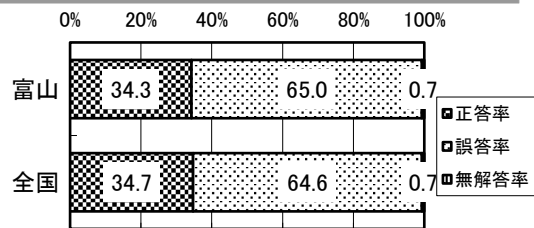
(3) 問題番号7(2) <正答率が低く、その正答率が全国よりも低い問題>

学習指導要領における領域・内容：読むことイ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる。

- 正答率は34.3%で、全国平均より0.4ポイント低く、全問題中4番目に正答率が低い。
- 無解答率は0.7%（全国0.7%）と低い。
- 誤答については、情報の不足や偏り、内容の具体性のバランス等を踏まえ、英文全体の主題と各段落の内容が過不足なく含まれているかを判断することに課題があることによるものと考えられる。



7 次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

(2) しおりさんが書いた英文の概要（文章全体の大まかな内容）として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

正答 1

(注) creative: 創造的な
not only ~, but also ...: ~だけでなく、...も
puppet: 人形 workshop: ワークショップ
connect: ~をつなぐ while: ~する間

学習指導上の留意点

- 説明文を読んで、概要を捉えることができるようにする
説明文を読んで、概要を捉えるためには、段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることが重要である。
言語活動を行うに当たっては、語と語の関連や代名詞、接続表現等を手掛かりにしながら、段落内の情報の関係を正確に把握することが大切である。また、各段落の主な内容を関係付けていくことにより、文章全体の大まかな内容を捉えることも求められる。各段落の主な内容が過不足なく含まれているか、情報に偏りがいないか、一部の情報だけが詳細に述べられているなどバランスを欠いていないかといった視点で確認することが大切である。

指導のポイント

- 学校生活を紹介している短い文章等を読む際に、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら文章の流れを理解したり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめたりする活動を取り入れる。
- まとまりのある文章を読みながら、段落内の情報と情報、更に段落と段落との関係を図示する活動を取り入れる。
- 個々の詳細な情報にとらわれることなく大切な情報を判断するために、接続詞等に注目して情報間の関係を把握しながら読み進めるように促し、初めはペアやグループ活動として、生徒同士で理解したことを共有しながら読むように取り組む場を設定する。既成の図を埋めるだけではなく、最終的には生徒自身が読んだ文章の構成や情報の関係を図に表すことができるようになることを目指す。